

介護体験を



聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

第190回 介護体験を聞く会

平成二十九年十一月二十五日(土)に開催

「議題」

- ①胆管癌を克服した75歳男性の今後の目標
- ②文化祭を振り返って
- ③来年度の医療と介護のダブル引き下げ
- ④グループホーム旭町運営推進会議

出席者(職員)・・・院長、柳田CM、柏倉、飯田、杉山、佐和田、橋口、吉田、板井、漆原

出席者(家族)・・・藤田さん、野々目さん、中島さん、今野さん、柴山さん
事業所・・・小林さん(しおん地域包括)

「検討の目的」

急に黄疸が出て、入院し、胆管癌で肝臓・膵臓・胆管をとる手術を行いました。長期入院をされていたため、リハビリを継続するためにデイケアを利用しています。ご本人の努力と社会的な性格から馴染みが築かれていまず。今後のケアについてご本人も交えて目標の設定をしたいと思えます。氏名：Nさん、男性、75歳

介護度：要介護5

利用状況：週2回利用(月・木)

利用開始日：平成29年5月

出身地：神奈川県川崎市
趣味：読書、カメラ、古本屋さん巡り
性格：明るい、好奇心旺盛

主介護者：妹

*既往歴

会報第191

平成29年十二月六日発行

発行所・・・(有)明寿会

住所・・・川崎区中島1-133-3

電話044-2333-0061

*今月は十二月十六日、来年は二月二十七日です。

胆石(40歳くらい)

*現病歴

胆管癌(平成28年)

内服薬

タケプロン錠15mg

胃酸の分泌を抑える薬

酸化マグネシウム錠350mg

胃酸を抑える薬

便秘をよくする薬

ツムラ補中益気湯：食欲不振を改善する薬、体力を回復させる薬

エケア錠50mg：インスリンの分泌を促す薬、血糖を下げる薬

ラシックス錠20mg：血圧を下げる薬、尿を出してむくみをとる薬

アルダケトン錠25mg：むくみを取り血圧を下げる、尿量をふやす薬

ラシックス錠10mg：血圧を下げる薬、尿を出してむくみをとる薬

*生い立ち

神奈川県川崎市に生ま

子供とゲーム



れる。大学まで進学し、卒業を迎える。卒業後は、いくつかの職業に就職し、水道屋・水道関係の用品店・浄化槽設備に関する業務を行い、定年を迎えるが、上司の勧めもあり、5年延長となる。その後はアルバイトをして過ごしていた。

*自宅での様子

妹さんが作った朝・昼ご飯と夕飯は宅配弁当を食べている。昔一緒に働いていた仲間から「健康になるためには、果物を食べるのが良い。」と教えられたこともあり、柿・みかん・林檎を食べている。朝・夕食に食べように勧められたことで、薬の内容は変わらな

いが錠剤の数は減ってきている。

自宅では、新聞・ラジオ・読書をしながら過ごしている。外出されることもあり、自転車の練習や歩くことをしている。最近では、ご近所の歩道橋の往復を100メートル位まで歩けるようになった。趣味の古本屋さん巡りをされることを楽しみにされている。

*デイケアでの様子
来室され始めた時は、下肢筋力がやや弱く、退院後ということもあり、デイケアでは、短期集中個別リハ加算というものがあって、一人のリハビリ職員が個別に40分のリハビリを実施しました。杖歩行を行っています。短い距離であれば杖がなくとも歩ける程まで回復しています。

男性・女性のご利用者とは年齢問わずに談話をすることを楽しみにされており、誰にでも気さくに話してくださる陽気な方です。男性同士の談話では、戦争の話や変わりゆく川崎の様子について

お話をされています。
介護体験を聞く会や文化祭に自発的に足を運んで下さり、地域の行事にも興味関心があり参加して下さいます。

介護体験を聞く会では、皆様のお話しを聞きながら勉強をされており、感想を述べて下さる一幕もありました。また、文化祭では、戦争の映像を5時間も集中して見てくださり、低栄養についての説明文を熟読され、「カロリーではなくてバランスの取れたものを食べないといけないのだね。今まで不摂生だったから。」と反省をされ、「肉よりも魚、野菜を多く摂らな」と話していました。

*今後について継続的にリハビリを受け続けて、車の運転ができるようになるために自動車学校に行き、シルバードライバー講習を受講し、倉庫の片付けをしたい。カルチャーセンターに行き、スポーツ・カメラ・読書をしたい。と目標を掲げています。社交的な性格を基盤にし、今後の生活が豊か

なものになるように見守っていききたいと思います。

*検討会より
担当ケアマネ…1年ちよつと前に病気になって、大手術をしたんですよね。

Nさん…手術は10時間かかった。しばらく痛みで食べられず、点滴していた。退院まで8、9ヶ月かかった。

飯田ケアマネ…黄疸が出たんですか。

Nさん…そうですね。検査したら胆管が詰まっている、ちよつとまずいぞと言われた。点滴でも治るが手術の方が早いと言われて手術した。

院長…退院後すぐ歩いてましたよね。

Nさん…手術して2日後には先生から立って歩けると言われた
院長…早く歩いて元に戻りたいという意欲が非常に強いという印象がありましたよね。

飯田…しばらく食べられなくてスマートになりましたよね。
Nさん…十数キロ痩せましたね。
院長…今まで不摂生だった

たというのは食べ物ですかね。

Nさん…仕事の工程があり、途中でやめられない時は2時に昼食を食べたいりしていた。その時に弁当じゃなくてフアミリーレストランで食べていた。

そうすると肉ばかり食べていた。好きなものばかり食べてしまう。後で考えるとき偏っていた。

院長…気持ちの方は次に何するか、顔にみなぎつている。この前は軽トラの掃除をしましたよね。

Nさん…横浜に小さな事務所があるが、そこまで軽トラがないと行けない。自動車学校で高齢者の実習をやつて、それからじゃないと運転感覚が難しい。

院長…意欲の方が増して次の行動を目指すというNさんの生き様は、多くの人が学ぶところがある。普通大病したらなかなか復帰するのは難しいと考える人も多いが、Nさんはそうじゃない。意欲を持つというのの大事。

飯田ケアマネ…小林さんはしおん地域包括に入つて何ヶ月ですか。
小林…3ヶ月です。

柳田ケアマネ…地域包括支援センターというところ。沢山声が来ますよね。

小林さん…大変ですよね。院長…大変なことが色々ある。長期療養の40万人を在宅で見てくださいと言つても家族は困る。

保険料は取つておいてそれでは詐欺だ。
柏倉…年に3回役所の集団指導講習会があるが、大きなホールで皆早口で資料を読み上げる。目で追うのがやつと。詳しくは後で読んでくれと言われる。

院長…それはおかしいと国民が声を上げていかなければならない。

柳田ケアマネ…文化祭の振り返りですが、何か感想ありますか。
柴山さん…天気も悪くてお客さんも少ないだろうと思つていた。私自身は白内障の体験も出来て勉強になった。

野々目さん…作品がきれいで皆さん手先が器用だと思つた。自分ではできない。

*グループホーム運営推

進会議
漆原…十一月十一日に認知症サポーター研修に行かれた方のボランティア体験の受け入れを行いました。体験の方2名と区役所の方1名来られてグループホームとはどういうところか、認知症とはどういうものかなど見てもらいました。体験に来られた方は自分の親が認知症になつてしまったとか、将来そうなたと味を持つて来られたそうです。こちらも改めて認知症について考える良い機会になつたと思います。

また、毎年グループホームでは外部評価を受けています。今年度は1月二十四日に決まりました。

ご家族にもアンケートなどお願いすることになります。よろしくお願いします。

グループホーム旭町

漆原

あさひこまつり

十一月十八日に旭町小学校のあさひこまつりに

参加しました。学校に着くと広さに皆さん驚きました。体育館までの教室の数に驚かれ廊下に貼ってある貼り絵が目につき、学年を見ると2年生でした。折り紙を細かく切り同じ模様なのに、いろいろな色紙が貼ってあり皆さんから「細かいのにすごいね。昔の一年生、二年生と違うね」と感心してらっしゃいました。机は小さいのに教室の広さを見て「昔は木で作ってあり、教室の一番後ろまでぎりぎりだった」と言われました。廊下や階段を見て「小学校じゃないみたい。広いしきれいだね」と驚いてました。背丈の大きい生徒さん達から「こんにちは」と挨拶されると「みんな大きいね。知ってる人なの？」と聞かれました。体育館に着くと広さに驚きました。生徒さん達が考えたのか、いろいろなゲームが目に入り、特に傍にボウリングがあり目につきましたが、大勢の生徒さんが順番をついてました。利用者さんは「何でもあ

るね、何をしようかな」と楽しそうでした。的当てゲームコーナーに行きました。点数がついており、大きい点数を倒したりします。ある利用者さんは、的に届かないと言われ、生徒さんに「もつと前でもいいですよ」と言われ一番前まで行かれました。当たりましたのが倒れませんでした。別の利用者さんは、自ら少々離れて挑戦され楽しめました。他に点数の書いてある的にボウルを入れるゲームもあり、それには高得点を取られ黒板に名前がのりました。利用者さんに改めて学校名を伝えると、息子さんが卒業された学校で、あまりにも大きくなり驚いたと言われ懐かしんでいらつっしゃいました。グループホーム旭町

太田

流会と今年一年を振り返って

十一月六日、七日で小学校四年生と交流しました。子供達が手作りで遊

童心にかえって



び道具を作り、持って来てくれ利用者様と楽しく遊びました。じゃんけんやすごろく、かるた等子供が考え作ったものです。司会進行も子供さんが行い、利用者様も笑顔で楽しめました。楽しい時間はあつという間に過ぎ、帰る時間になると涙を流される方もおられました。利用者様の活き活きとした姿を見る事が出来、私達もうれしく思います。普段の笑顔とは違い、子供の力つてすごいなあと感じました。今後も交流会など積極的に参加できればいいと思います。一年の振り返りと来年にむけて今年を振り返ると様々なことがありました。今年

から町内の行事に参加させて頂き、町内の集まりにも積極的に参加しました。地域の方に支えてもらいながら生活しているという事を実感できました。色々勉強になり今後に生かしていきたいと思っています。すこいなあと思っていた言葉があり紹介させて石原裕次郎の(人の悪口は絶対口にするな)、(人にしてあげた事はすぐに忘れる)、(人にしてもらったことは生涯忘れるな)来年はこの言葉を忘れず行っていきたいと思えます。

デイサービズ責任者
板井

100歳越えて卓球クラブ



「娘と文化祭へ」
わたしが小学四年生の娘を連れて文化祭に行ってみようと思ったのは、「学校で認知症の勉強をしたよ」とオレンジリングを誇らしげに見せてくれたので、寸劇を見るのは良い機会だと思つたからです。娘が学校で教わってきた「認知症の人が間違つたことを言っても否定せずに寄り添うこと」が寸劇でも表現されておりの、「うまくお世話するのは難しいね」と感想を話していました。最近では学校の近くのデイサービズも訪問したそうので、高齢者の方からたくさんのお話を学んでほしいなと思えました。

デイケア 小柴

『デイケア卓球クラブ』

デイケアでは卓球倶楽部を十月より開催し、三回実施しました。三々五々館に標準より少し小さな卓球台があります。全員をお連れする事は難しい為、毎回八人前後で訪れています。皆さん第一声

は「やらないよー」ですが、少し強引にお誘いすると意外とラケットを離さず夢中で行っています。いつもは杖や歩行器、介助で歩かれています。介助が、卓球をする時は違

デイケア卓球クラブ



います。杖や歩行器は使わずにバランスを上手に取りながらサーブもし球を必死で打ち返します。誰一人としてバランスを崩して転びそうになつた方はいません。本当にバランスの訓練にはもってこいだと思えます。誰でも簡単に出来るスポーツなのでこれからもリハビリの一環として楽しく卓球倶楽部を開催していきたいと思えます。

デイケア室 八馬

「初めまして」

私は介護職で入職した橋口満彦と申します。もとは東京の印刷会社で仕分けなどの仕事をしていました。新人といいますが55歳のオジサンヘルパーですが…

介護経験としてはデイサービスやグループホームで働いてきました。

私が柳田デイケアに惹かれた理由は柳田院長自ら、リリアンを回して利用者様と一緒に懐かしい歌を歌い、その歌を解説してくださるところです。

一風変わったデイだなあと最初は感じましたが、利用者様が日々笑顔で、元気になっていく様子を見るにつけ自分もここで勤務してみたいとの思いに駆られた次第です。またスタッフの皆様も私よりずいぶん若いのに、しっかりとした考えを持ち、仕事も的確にこなしています。とても感心しました。

私は、多少せつかな面がありますので、まだまだ利用者様と深いお話もできていない現状です。

が、今後はよりいっそう利用者様とコミュニケーションを深めていけたらと思っております。またたまに脱線するかもしれませんが、そんな時は利用者の皆様、やさしく叱ってください。

私も早く職場の戦力となれるよう日々精進して参りますので今後ともよろしく願います。

2017年12月
デイケア室 橋口 満彦

「言葉の大事さ」

〜同じでも 交わす言葉と心地よさ〜

「毎日寒いですね」「嫌だね、冬は」このような会話が朝のあいさつ代わりになっています。

ついこの間は「暑い暑い、何とかして〜」なんて話を良くしていました。利用者さんと職員という立場ではありませんが、日々顔を合わせて様々な話をしています。もしかしてそれは家族よりも多くの事を語り合っている

かもしれない。

かもしれない。今年も様々な出会いがありました。これからも新たな出会いが沢山ある事と思っています。

「今まで」と「これから」どちらも大切で、かけがえないもの。だからこそ同じ空間で過ごして互いに気持ちの良い関係であり続けられる様なデイケアでありたいと思います。

柳田診療所デイケア室
杉山

軽度認知障害 (MCI) 認知症前夜

65才以上の4人に1人がMCI認知症 簡単な軽度認知障害のチェックリストは・・・

- ① 何度も同じ話をする
- ② 水が出しっぱなし
- ③ 同じ商品を買っていた
- ④ 「あれ」「これ」で話す
- ⑤ 外出が減った
- ⑥ 服装などに無頓着
- ⑦ 趣味が楽しめない
- ⑧ 家電操作にまごつく

- ⑨ 小銭を使わなくなった
- ⑩ 日付が出てこない

これらのうち3つ該当するものが有れば、MCIが疑われるそうです。そのときは医療機関で診てもらい、正しい診断を受けましょう。

MCIはCT検査やMRI検査をしても脳の萎縮は認められないことが多く、確定診断が出来るのは、川崎市では聖マリアンナ医科大学病院認知症専門医療相談窓口メデイカルサポートセンター
(044-977-6467)

日本医科大学武蔵小杉病院認知症専門医療相談窓口街ぐるみ認知症相談センター
(044-733-2007)



手のリハビリ